

令和3年12月16日

有田市議会
議長 中谷桂三様

有田市議会 総務建設委員会
委員長 上山寿示

総務建設委員会 市内視察報告書

視察日 令和3年11月10日（水）10：00～12：00
視察先 1. 国道42号有田海南道路工事（新堂地区、鯉川トンネル付近）
2. 新都市公園（港、初島地区）
3. 有田川右岸津波対策工事（港地区）
出席委員 上山寿示委員長、小西敬民副委員長、
浜口元司委員、福永広次委員、生駒三雄委員、
堀川 明委員、岡田行弘委員

1. 国道42号有田海南道路工事について

有田海南道路1号橋上部工事では、橋を架けるためのクレーン作業用の仮設橋ができ、また2号橋下部工事では鉄筋骨組も出来上がりつつあり、大体の形が目に見えて分かるようになってきていました。工事の完成予定は現時点では明確に出せないとのことで、今後のトンネル工事にあたり、地盤の強度により工期が左右されるとの見解でありました。

鯉川地区の工事では、トンネル工事及び国道からの乗り入れ道路に絡む星越池の埋め立て等について説明がありました。星越池を埋め立てるにあたり、里地区の住人の安全を一番に考えた、護岸の強化を図る設計を考えて取り組んでいきたいとの声が委員から多く出されていました。

2. 新都市公園について

新都市公園は設計図面上で見ると、現地を直接見ることで輪郭、施設の規模がおおむね把握できました。現在進行中の国道42号有田海南道路工事のトンネル掘削に係る排土を無償で受け入れ、敷地の嵩上げに活用していること、そして、排土を受け入れることにより、国土交通省が擁壁工事を施工してくれるため、費用の削減にも繋がる旨の説明を受けました。また、年明けには既存の家屋の解体に取り掛かるとのことでありました。

3. 有田川右岸津波対策工事について

有田川右岸津波対策工事の港地区では、導流堤の部分においては全長 240mのうち昨年までに 160mが完成し、今年度 60mが完成予定、令和 5 年に残りも完成予定であるとのことでありました。

護岸工事に関しては全長 704mのうち、昨年までに約 7 割が完成しており、今年度 10 月時点で更に 260mが完成し、引き続き施工中でありました。埋め立てている土砂は有田川の浚渫工事が出たものを利用しているとの説明がありました。

今回の視察を終え、全体の流れが掴めたように思います。有田市の予算で施工する事業以外は中々わからないことも多い中、国の事業の取り組み及び県工事について、進捗状況も含め理解することができました。

工事の早期完成を望みますが、安全面を一番に考えた施工方法による遅れも仕方がないと思われます。しかしながら、市民は安心して暮らせるまちを望んでいるので、安全かつ迅速に取り組んでいただき、事故のない完成を期待するところです。